

「新規事業創出プロジェクト成果報告会」を開催します ～副業プロ人材を活用した中小企業のチャレンジをご紹介～

千葉市では、市内中小企業の事業成長促進のため、新商品・新サービス開発や新規市場展開（以下「新規事業等」という）を支援する「千葉市新規事業創出支援事業（以下「C-BID」という）」を実施しています。

このたび、新規事業等の立ち上げを目指す市内企業に対し、C-BID 採択事業者が取り組み成果を紹介するセミナーを開催しますので、お知らせします。

1 目的

C-BID 採択事業者から、副業プロ人材を活用した取り組み成果を紹介することで、市内企業の新規事業等の立ち上げを促進する。

2 日時

令和4年2月7日（月） 17：00～18：30

3 開催方法

オンライン開催（Google Meet で実施）

4 内容

- (1) C-BID 採択事業者の新規事業プロジェクトの紹介
- (2) 副業プロ人材活用のポイントの紹介



5 登壇企業（C-BID 採択事業者）

企業名	新規事業テーマ
株式会社アトリエ ^{ボジー} POSY	「植物パズル療法」の企画・戦略立案
合同会社ウィズ工房	あったら良いな、便利だな！の商品企画
協和警備保障株式会社	最新IT技術を活用した実技研修システムの企画検討
有限会社総合電設	電気・通信工事業の強みを活かした新規事業の立ち上げ
株式会社 ^{バンジ} BAN-ZI	日本発「サビキラープロ」の海外展開

6 申し込み期間

令和4年1月18日（火）～2月7日（月） 12：00

7 申し込み方法

以下の申し込みフォームからお申込みください。

お申込みいただいた方に説明会参加URL（Google Meet 招待URL）を送付します。

【URL】<https://forms.gle/qUACZuz8UDRUi7gU6>



8 問い合わせ先（事業受託者）

申し込みフォーム

PwC あらた有限責任監査法人 担当：田中、澤田、中川、川端、坂本

【電話】080-4130-8526（川端携帯）※電話が繋がらない場合は留守番電話にメッセージをお願いします。担当者から折り返し連絡します。

【メール】jp_aarata_chiba-city-new-business@pwc.com

【参考】C-BIDについて（令和3年6月28日発表）

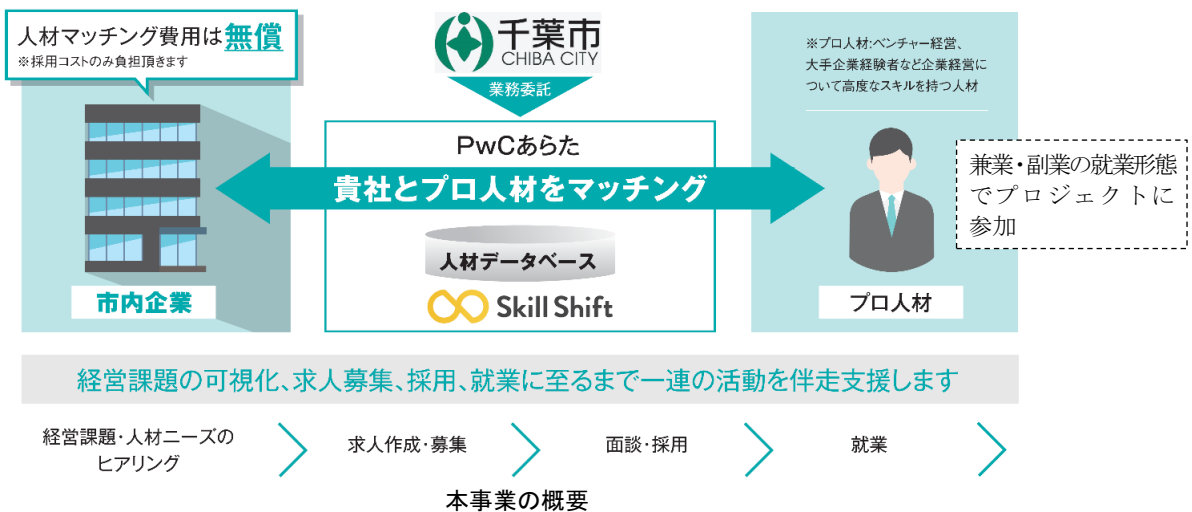
1 事業概要

企業の経営課題や人材ニーズをヒアリングし、必要とする人材を分析した上で、専門スキルを有する副業プロ人材（企業経営へのサポートや新規事業立ち上げのスキルを持つ人材）と企業をマッチングし、副業プロ人材は、プロジェクトメンバーの一人として新規事業等を支援します。

さらに、定期的にプロジェクトの進捗確認を行い、プロジェクトをサポートしていきます。企業は、経営課題にマッチした専門性の高い人材を低コストで雇用でき、プロジェクトをより効率的、効果的に展開することが可能となります。

(1) 副業プロ人材とのマッチング支援

- ア ヒアリングを行い、経営課題を整理し、新規事業展開等に必要の人材を分析
- イ 求人票作成をサポートし、副業プロ人材データベースで求める人材を募集
- ウ 新規事業展開等のプロジェクトメンバーとして採用するプロ人材をマッチング



(2) プロジェクトの進捗管理

- ア 副業プロ人材と採択者（審査を通過し、本事業に参加する企業）でプロジェクト計画書を作成
- イ プロジェクト計画書を基に、定期的に進捗管理を行い、プロジェクトをサポート

(3) 成果報告会

プロジェクト成果のプロモーションと、副業プロ人材を活用する手法の講演を行います。

<対象のプロジェクトテーマ>

- 【新商品開発】・新たな商品を作り、販売を行う。
 - ・既存の自社商品の一部を改良し、新商品として販売する。
- 【新規市場展開】・既存の商品の中身は変えず、パッケージ等を変更し、新商品として新たな市場に販売する。
- 【D X 推進】・デジタル技術を活用し、業務やビジネスモデル、サービスを変革する。

2 主な参加要件

- (1) 市内に本社又は事業所のある中小企業であること。
- (2) 新商品開発、新規市場展開、D X推進による事業成長の意志があること

3 費用負担

- (1) 千葉市は、プロ人材データベース利用料（求人掲載料 100,000 円/月）、求人票作成、プロジェクト進捗管理等に係るコンサルティング費用を負担。
- (2) 採択者は、プロ人材への報酬・交通費のみ負担。

4 本事業の活用例

- (1) 新型コロナウイルス感染拡大による社会の変化に対応した商品を開発したい。
- (2) 既存事業の競争が増えたため、商品改良により、付加価値を加えた新商品を開発したい。
- (3) メーカーの下請けとして長年経営しているが、受注が減少しており、他社にはない技術やサービス、ノウハウを生かした自社商品を開発したい。

※昨年度の採択者の活用事例は、本事業HPに掲載しています。

【URL】 <https://www.city.chiba.jp/keizainosei/keizai/sangyo/new-business.html>